

発議案第4号

インボイス制度の実施延期を求める意見書について

上記の発議案を別紙のとおり白井市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和5年7月11日提出

白井市議会議長 岩田 典之 様

提出者 白井市議会議員 徳本 光香

賛成者 白井市議会議員 根本 敦子

提案理由

国に対し、住民の暮らし、地域経済、地方行政、芸術文化に深刻な打撃を与えるインボイス制度実施の延期を求めるため。

インボイス制度の延期を求める意見書（案）

新型コロナ危機により景気の低迷が長期に及び、ロシアによるウクライナへの侵略に起因する混乱や円安の影響による大幅な価格高騰が、暮らしと営業の危機的状況に追い打ちをかけ、地域経済の中心を担う中小企業・小規模事業者は存続の危機に瀕し、支援を必要としています。

このようななか本年10月から導入が予定されている適格請求書等保存方式（インボイス制度）は、「税率変更を伴わない消費税増税」であり、事務負担増加のほか、インボイス発行事業者登録をしないと取引を拒否される可能性があり、個人事業主や農業従事者、フリーランス、芸術文化関係者、シルバー人材センターの仕事を担う高齢者等、幅広い事業者が影響を受け、負担増加により廃業に追い込まれる恐れがあります。

昨年11月16日に行われた、演劇、漫画、アニメ、声優の4業界団体がインボイス制度に反対する合同記者会見では、各団体が実施したアンケートの結果、当制度が施行された場合に約2割が廃業を検討している事実も明らかになりました。インボイス制度導入が、日本経済全体と世界に誇れる芸術文化の取り返しのつかない衰退につながることは必至です。

インボイス制度の実施に関し、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国青年税理士連盟、全国建設労働組合総連合、中小企業家同友会、日本チェーンストア協会、全国青色申告会総連合、日本漫画家協会、日本SF作家クラブ、日本美術著作権連合、俳優の西田敏行氏が理事長を務める日本俳優連合など多くの団体が「凍結」「延期」「見直し」の表明を行っており、現状のまま実施に踏み切ることに懸念の声を上げています。7月3日には本市議会にも、全国シルバー人材センター事業協会と当市のシルバー人材センターより、インボイス制度施行に伴う事業運営環境の厳しさと財政的支援の必要性を強く訴える要望書が届きました。

住民の暮らし、地域経済、地方行政、芸術文化にも深刻な打撃を与えるインボイス制度の実施は、一旦立ち止まり再検討すべきです。

よって、本市議会は国に対し、インボイス制度の実施延期を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年7月11日

千葉県白井市議会

意見書提出先

衆議院議長 細田 博之

参議院議長 尾辻 秀久

内閣総理大臣 岸田 文雄

財務大臣 鈴木 俊一

経済産業大臣 西村 康稔